

製品名: PIN1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02442**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット、ハムスター
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.45mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 18 kDa; Observed MW: 18 kDa

抗原情報

遺伝子名	PIN1
別名	DOD; UBL5
遺伝子 ID	5300
SwissProt ID	Q13526
免疫原	ヒト Pin1 の合成ペプチド

背景

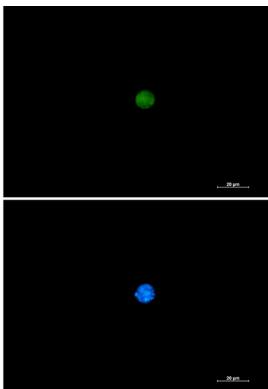
ペプチジルプロリルシス / トランスイソメラーゼ (PPIase) は、ペプチジルプロリルペプチド結合のシス / トランス異性を触媒し

ます。この遺伝子は PPlase の 1 つをコードしており、リン酸化セリン / スレオニンプロリンモチーフに特異的に結合し、基質のリン酸化後の構造を触媒的に制御します。この PPlase によって触媒される構造制御は、細胞増殖、遺伝毒性およびその他のストレス応答、免疫応答、多能性の誘導と維持、生殖細胞の発生、神経分化、そして生存の制御に関与する重要なタンパク質に大きな影響を与えます。

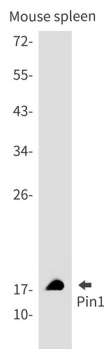
研究分野

神経科学

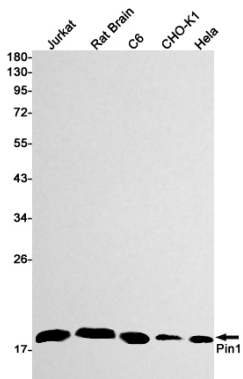
画像データ



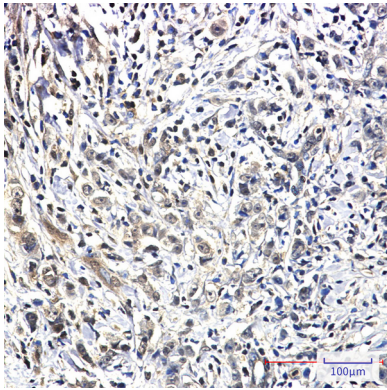
PIN1 抗体と DAPI (青) を使用した 293 の PIN1 (緑) の免疫細胞化学分析。



Pin1 抗体を使用したマウス脾臓溶解物中の Pin1 のウエスタン ブロット分析。



Pin1 抗体を用いた Jurkat、ラット脳、C6、CHO-K1、HeLa ライセート中の Pin1 のウエスタンブロット分析



Pin1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。